

平成26年 宇治市観光振興計画推進委員会 論点メモ

1. 観光情報の発信

本年は、6月に鶺鴒の雛の誕生、11月には「チャチャ王国のおうじちゃま」がゆるキャラグランプリで全国5位、NHK地域発ドラマ「鶺鴒に恋した夏」が放映されるなど、全国的に話題になることが多数ありました。また、宇治市観光協会と鶺鴒匠では日々SNSで情報発信しているほか、観光パンフレットを刷新し京都駅の「京なび」、京都府東京事務所に配架し好評を得ているところです。しかしながら、まだまだ知名度が低いのが現状です。

観光情報の発信について、より効果的な提案・ご意見があれば委員会でご発言いただきますようお願いいたします。

2. 外国人観光客誘客（インバウンド）対策

平成32（2020）年に東京オリンピックが開催されることになり、日本に対する世界各国の興味もより上がってくると思われ、それに応じて外国人観光客の増加が期待されます。全国の各観光地がインバウンド対策を強化してくることが予測されます。市としても今度、なんらかの対策をおこなっていきたいと考えております。

インバウンド対策について、効果的な提案・ご意見があれば委員会でご発言いただきますようお願いいたします。

3. 観光振興計画策定後の重点課題・新規課題について

観光振興計画策定から1年半経過し目まぐるしく変わる情勢の変化の中、策定時には想定できていない新たな課題や、計画には掲載しているものの現在取組みが不十分でより重点的に取り組むべき課題があるかと思えます。

この新たな課題等について、ご意見があれば委員会でご発言いただきますようお願いいたします。

